

駒ヶ根民報

No.1363

2016.7.03

日本共産党

駒ヶ根市委員会

TEL 83-2969

6月議会一般質問

竹村ほまれ議員

- ① 子どもの貧困化・当市の対応は
- ② 後期高齢者医療、特例軽減廃止への見解は
- ③ 豪雨災害への備えは
- ④ 特定外来植物の被害の実態と対策は



質問 所得格差・貧困の拡大により、子どもの6人に1人が貧困とされる経済環境の中で暮らす現実だ。当市の子どもの相対的貧困率を調べ、今後の対策に生かす、市長の見解は。

市長 当市で同様の調査をするには出来ない。就学援助の支給対象や生活保護世帯の状況、1人親実態調査や生活困窮者引きこもり者に関する実態把握に努め、当市に合った支援を世帯毎にしていけるのが重要。

今号はアベノミクスにより、拡大する格差社会の中で、失政の産物ともいえる①深刻な子どもの貧困化の課題。
弱者にいわ寄せ②後期高齢者医療制度の軽減特例廃止の課題。
梅雨の時季を迎え③当市の豪雨災害への備えについて。
繁殖の拡大が心配される④特定外来植物 アレチウリオオキンケイギク等(被害への対策について、竹村ほまれ議員が当市の対応を夫々質しました。

子ども相対的貧困率調査で対応を図る考えは

後期高齢者医療の特例軽減廃止に対する考えは

質問 国は後期高齢者医療制度の保険料特例軽減を、平成29年度実施を見込み、段階的に打ち切る計画だ。低所得者の保険料の大幅な負担増が懸念され、実施するべきではないが、市長の見解は。

現行制度維持を要望する

市長 生活に影響を与えることにならないよう、現行制度を維持することを強く要望していきたい。

豪雨災害への備えは

質問 広島や南木曾の災害から2年、当市の豪雨や土砂災害に対する防災対応の進捗状況備えはどの様になっているのか。

ハード・ソフト両面を

進めてきた

市長 砂防事業によるハード整備の更なる推進と気象予測やこれを活用した警戒体制等ソフト対策の両方の必要性から、砂防事業によるハード整備、雨量観測システム等ソフト体制を強力に進めてきた。

雨量観測システムの

利点と効果の期待は

質問 2年前に、市独自で管理する雨量計の設置と、オンライン化によるHP上での観測データの情報公開を求めてきたが、求

めに対して、市内6か所の雨量計の設置と、それを含む17か所の情報を見ることが出来る雨量観測システムが整備され運用が開始された。利点と効果の期待は。

自主避難にも役立てて

市長 市の専用HP、スマホ、携帯電話等を通じて連続の雨量情報を365日リアルタイムで確認が出来、2時間前〜6時間後の雨雲の推移を予測出来るので、市民の皆さんには是非、自主避難に役立てて頂きたい。



特定外来植物の被害の実態と対策は

質問 天竜川流域に目立って大群落をつくっている特定外来植物 アレチウリオオキンケイギク等の当市の被害の実態と対策はどの様になっているのか。

また、拡大する繁殖を防ぎ、有効な駆除対策の展望はどうか。

種子の拡大を防ぐ

ことが重要

市長 現在19種類の特定外来植物が県内で確認されており、被害が明らかかな植物はオオキンケイギクとアレチウリ。

オオキンケイギクは種子の拡大を防ぐことが防止に繋がるので、群生した場所では種子がつか前の花の時期に刈取りをすることが必要。又、新たな繁殖が確認できた場合は即座に抜き取りが飛散防止に繋がる。

アレチウリは、成長も早く切断しても成長するので、6月中旬以後の出来るだけ短い時季に抜き取ることが必要。

広範な取り組みを

質問 特定外来植物市民への啓蒙と理解を求める学習会の開催等、市民を巻き込んだ取り組み、広範な駆除活動の充実が不可欠だが、考えは。

外来植物への関心を高める

市長 計画的に駆除防除に取り組んで頂けるよう繁殖地や規模について状況を把握し、外来植物それぞれの個別駆除方法や処理方法を広報ホームページを含め、様々な方法により周知をしていきたい。

ニセアカシマの対応も

ほまれ 特定外来植物の他にも、要注意外来植物のニセアカシマの繁殖も目を覆うものがある。一方で、養蜂家との関係や、果樹農家との関係、食用や薪炭材としての有用植物の一面もあるが、計画的な駆除対応を含め、こちらの対応も要望しておく。